

## 第29回学術集会「がん登録担当者研修会」



杉山 裕美 JACR専門委員

放射線影響研究所疫学部

第29回JACR学術集会「がん登録担当者研修会」は、初めてのWebオンデマンド形式での開催となりました。松坂方士先生(弘前大学医学部附属病院)から、「がん登録資料に基づく研究の進め方」として、研究と報告との違い、倫理的手続き、統計的手法、論文の書き方等、様々な視点からご講演いただきました。私からは、都道府県がん登録における報告書の構成や位置づけを紹介し、2020年1月時点で公開されていた44地域のがん登録報告書をレビューした結果を報告しました。妙田秀未先生(広島大学病院)には、「院内がん登録「集計表」の作成-広島県がん診療連携拠点病院の取り組み-」として、集計の説明や医療機関で同一形式を用いる等工夫点を含めてご講演いただきました。海崎泰治先生(福井県立病院)には、「領域横断的がん取扱規約」についてご講演いただきました。がん登録従事者にとっては、臓器ごとのがん取扱規約が一冊に網羅されており、大変貴重な一冊です。➤

➤私が担当した都道府県がん登録報告書について少し触れます。都道府県におけるがん登録報告書は、その地域のがん対策におけるがん登録データを提示する基本的手法であり、医療機関と社会へがん発生状況を還元する方法として重要です。また、どのような地域でどのようにデータが収集されたかの方法、結果(グラフと集計表)、その解釈を記述することが重要です。現在都道府県のがん登録室において、全国がん登録システムを用い単年の基本的な罹患集計表は自動で作成できます。また2016年以降の罹患集計については、政府統計ポータルサイトのe-statから日本と都道府県別の集計値が参照できます。今後は、すべての地域でがん対策の基礎となる単年集計、結果、解釈を報告書として報告し、さらに、罹患の年次推移、死亡率との比較、生存率集計、日本や他県の集計値との比較等、様々な視点でがん対策立案から評価へつながるよう、がん登録データが活用されることを願っています。

## 院内がん登録データ 分析ソフト

## CanStat-R Next

HosCanR Next 版 sp 1.45 対応

国立がん研究センターでもいよいよ院内がん登録データ分析研修が始まりました。  
**CanStatR を使って分析をしましょう。**

院内がん登録データを活用して病院独自の分析ができるソフトです。  
HosCanR は、もちろん他のシステムを使用している施設様でも国立がんセンター提出フォーマットのCSVデータであれば、独自の分析ができるソフトです。



HosCanR Plus データの統計解析も可能

いろいろな条件設定の検索・集計はもちろん、  
相対生存率等の生存率計算・グラフ表示が可能なソフトです。

お問合せ

スキルインフォメーションズ株式会社  
東京事業所  
〒110-0005 東京都台東区上野 3-14-1  
UENO CUBE EXECUTIVE ビル 6階  
Tel 03-5875-4199 / Fax 03-5875-8050

大阪本社  
〒533-0033 大阪市東淀川区東中島 1-17-26  
スキルインフォメーションズビル  
Tel 06-6320-4199 / Fax 06-6320-4198

web [www.sic-cancer.com](http://www.sic-cancer.com)

mail [healthcare@sic-net.co.jp](mailto:healthcare@sic-net.co.jp)